

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-009

PDCA	事務事業名	半六庭園管理運営事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光 担当	担当 内線等	渋谷 327	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第1節 観光・産業の振興					
		基本施策： 1. 観光					
		単位施策： (1) 観光資源の活用					
根拠法令等	個別施策： ①観光資源の充実						
対象・目的	半田運河の観光スポット、市民の憩いの場である半六庭園について、おもてなし・憩いの場としてふさわしい環境づくりを行う。						
目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草、庭木の剪定などの緑地管理 ・ トイレの掃除や消耗品の補充などの維持管理 ・ 来園者への案内やパンフレットなどの情報提供といったおもてなし業務 						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①清掃日数	359	360	359	日	
		事業費	5,018	4,948	4,687	千円	
		人件費	1,562	932	926	千円	
		総事業費	6,580	5,880	5,613	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①来園者1人あたりの運営コスト	146	143	234	円/人	
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①来園者数	実績値	45	41	24	千人
			目標値	65	65	65	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	D					
		庭園内の公衆トイレの維持管理、緑地管理等を適切に実施することで、半田運河を訪れた観光客・市民の憩いの場を提供することができた。 目標値である来園者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により周辺の観光施設、庭園内飲食店が休業したことや運河周辺でのイベントが中止となったことから、大幅に減少し、前年度を下回ることとなった。感染症が収束しない限りは、根本的な来園者の増加は難しい状況である。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 来園者のおもてなし・憩いの場として引き続き快適な環境の維持に努める。また開園から6年が経過し、工作物等に劣化・損傷が発生している箇所もあるため、必要に応じて修繕を実施していく。				
		令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①来園者数(新型コロナウイルスの影響がない場合)	65	千人		